

# 令和5年度 全国学力・学習状況調査より ～結果の分析と改善点～

令和5年9月発行  
坂井市立春江中学校

## 学習面について

### 国語

文章の構成や展開、表現の効果について考えることは概ね良好です。また、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することもできています。一方で、文章を読んで理解したことを知識や経験と結び付けて記述することにはやや不十分な面がみられるので、根拠を明確にして自分の考えを述べる問題に繰り返し取り組みましょう。

学習指導要領の領域	話す・聞く	書く	読む	言語
県平均	◇	◎	◎	◎
全国平均	◎	◎	◎	◎

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
県平均	◎	◎	
全国平均	◎	◎	

◇ 中山さんは、【A】(岸見一郎『本をどう読むか』)や【B】(小林秀雄『読書について』)の文章で述べられていることを参考にして、自分の本の読み方について考えました。あなたならこれからどのように本を読んできたいと考えますか。条件にしたがって書きなさい。  
本校75.1%(県76.0%)

◎ 「おし量って考える」下線部のひらがなを漢字に直し、楷書でいねいに書きなさい。  
正答 推(し量って)  
本校57.1%(県49.6%)

◎ 山田さんは、『判じ絵』とは何かと見出しを付けた文章を内容のまとまりで二つに分け、後半のまとまりには分けた内容と合う見出しを付けることにしました。分ける個所として最も適切なものを、(ア)から(オ)までの中から一つ選びなさい。また、後半のまとまりに付ける見出しを考えて書きなさい。  
本校68.7%(県64.8%)

◎ 原文「竹取物語」の下線部「いと」に対応する言葉を、現代語訳から抜き出さない。

正答 とても、まことに  
本校83.7%(県77.4%)

◎ 【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】は、古典の作品である「竹取物語」に、作家の星新一が工夫を加えて現代語で書いたものです。どこがどのように工夫されていると考えられますか。表現を取り上げて、あなたの考えを書きなさい。  
本校59.2%(県52.9%)

#### 本校の平均正答率(%)の全国・県との比較

- ◎ … 2ポイント以上の +
- … 1ポイント以上から2ポイント未満の +
- ◇ … ±1ポイント未満
- △ … 1ポイント以上から2ポイント未満の -
- ▲ … 2ポイント以上の -

＜留意点＞ 1 調査結果から読み取れるのは、あくまでも児童生徒の学力の一部であり、学校における教育活動等の一側面です。  
2 「成果」と「課題」は、学校全体の実態を示したものでなく、調査対象である「中学校第3学年」の調査時点(4月)における状況を示したものです。

### 数学

記述式問題での正答率が全国、県よりも高い傾向がありました。また、全体的に無答率も低く、思考・判断・表現力の複雑な問題に対しても粘り強く取り組んでいる傾向が見られました。しかし、基本的な計算の技能、言葉の意味の理解、図形の性質などの基本的な知識の定着に課題がありました。実生活とのつながりや関連を考えながら生きて働く知識になるように、今後も課題に取り組んでいきましょう。

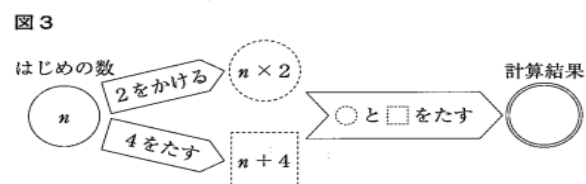
学習指導要領の領域	数と式	図形	関数	データの活用
県平均	○	▲	○	○
全国平均	◎	◇	◎	◎

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
県平均	◇	○	
全国平均	◎	◎	

◎ 結論が成り立つ前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見出し、説明することができる。  
本校52.8%(県46.8%)

(3) 夏希さんは、7ページの図1の「2をかける」のかける数「2」は変えずに、「3をたす」のたす数「3」を4の倍数である「4」や「8」に変えれば、計算結果がいつでも4の倍数になると考えました。そして、はじめの数としてどんな整数を入れても「はじめの数に2をかけた数が2、たす数が4ならば、計算結果はいつでも4の倍数になる」と予想しました。

そこで、夏希さんは、はじめの数として入れる整数を  $n$  とし、次の図3をかき、下のように計算しました。



#### 夏希さんの計算

はじめの数として入れる整数を  $n$  とすると、はじめの数に2をかけた数は  $n \times 2$ 、4をたした数は  $n + 4$  と表される。  
計算結果は、  
 $n \times 2 + (n + 4)$   
 $= 2n + n + 4$   
 $= 3n + 4$

計算結果が  $3n + 4$  となることから、はじめの数としてどんな整数を入れても「はじめの数に2をかけた数が2、たす数が4ならば、計算結果はいつでも4の倍数になる」という予想は成り立たないことがわかります。

上の夏希さんの計算をもとに考えたとき、はじめの数に2をかけた数がいくつ、たす数がいくつならば、計算結果はいつでも4の倍数になると予想できますか。「～ならば……になる」という形で書きなさい。

複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明できる。  
本校44.2%(県37.8%)

(2) 二人は、前ページの箱ひげ図を見て、話し合っています。

一花さん「4つの箱ひげ図を見ると、黄葉日はだんだん遅くなっている傾向がありそうですね。」  
啓太さん「でも、1991年～2005年と2006年～2020年の箱ひげ図は、右端と左端が同じくらいの位置にあるよ。遅くなっているといえるのかな。」  
一花さん「確かに箱ひげ図の右端と左端についてはそうだけど、箱に着目すれば、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあるといえるのではないかな。」

前ページの箱ひげ図を見ると、一花さんのように「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、1991年～2005年と2006年～2020年の箱ひげ図の頻に留意して説明しなさい。

▲ 空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解している。  
本校24.0%(県29.4%)

③ 空間における平面が1つに決まる場合について正しく述べたものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア 1点をふくむ平面は1つに決まる。
- イ 2点をふくむ平面は1つに決まる。
- ウ 1つの直線上にある3点をふくむ平面は1つに決まる。
- エ 1つの直線上にない3点をふくむ平面は1つに決まる。

正答 エ

英語

全ての領域で正答率が全国、県よりも高い傾向がありました。特に読むこと・書くことの領域で成果が見られました。聞くことについては、さらに向上していくために、英語による耳からのインプットの機会を増やしていきましょう。また、全体的に無答率も低く、英作文の問題に対しても粘り強く取り組んでいる傾向が見られました。友達と意見を交換しながら表現の幅を広げていけるように、今後の課題にも意欲的に取り組んでいきましょう。

学習指導要領の領域	聞くこと	読むこと	書くこと
県平均	◇	◎	◎
全国平均	○	◎	◎

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
県平均	○	◎	
全国平均	◎	◎	

ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する。

5

(1) 次の英文を読んで、その内容を最も適切に表しているグラフを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

In 2005, about 1,000 tourists from abroad came to Minami City. During the next ten years, the number went up. Over 2,000 tourists came to Minami City in 2015. The number of tourists from Minami City to other countries didn't go up.

—: Tourists from abroad to Minami City  
- - -: Tourists from Minami City to other countries

本校64.8% (全国56.0% 県61.8%)

与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる。

9

(1) 次の①、②について、例を参考にしながら、必要があれば( )内の語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、それぞれ会話が成り立つように英文を完成させなさい。

(例) <友達同士の間話>  
A: I called you at eight last night.  
B: Oh, sorry. I ( do ) my homework then.  
(答え) was doing

① <先生と生徒の間話>  
A: Do you have any plans for summer vacation?  
B: Yes. I ( visit ) my uncle in London. I can't wait!  
A: Wow, that's nice!

② <友達同士の間話>  
A: Oh, you have a new watch!  
B: Yes, I got it yesterday.  
A: ( buy ) the watch?  
B: At a department store near the station.

本校42.9% (全国40.4% 県40.5%)

## 生活面について

生活面のアンケート調査によると、本校生徒は、多くの項目で全国平均を上回っています。下回っていた項目は、家庭との連携・協力を図りながら生徒の意識を高め、改善していきたいと思えます。

### 良いところ

[生徒質問紙より]

- 自己肯定感が高い。  
・自分には良いところがあると思う。 本校91.2% (全国80.0%)  
・先生はあなたの良いところを認めてくれている。 本校94.4% (全国87.3%)  
・普段の生活の中で幸せな気持ちになる。 本校93.1% (全国86.8%)
- 学校生活で友達と良好な関係が見られる。  
・学校に行くのは楽しい。 本校89.8% (全国81.8%)  
・友達関係に満足している。 本校94.5% (全国88.7%)  
・自分と違う意見について考えるのは楽しい。 本校88.9% (全国77.6%)
- 授業に主体的に取り組んでいる。  
・自分の考えを発表するときに資料や文章、話の組み立てを工夫した。 本校79.3% (全国62.1%)  
・課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んだ。 本校91.8% (全国79.2%)  
・各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめた。 本校80.7% (全国69.1%)
- 地域の活動に意欲的である。  
・今住んでいる地域の行事に参加している。 本校59.0% (全国38.0%)  
・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。 本校78.8% (全国63.9%)

### 継続してほしいところ

家庭学習を充実させよう。  
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日まで)家庭で、塾等も含めて1時間以上学習する生徒の割合は、本校では71.0%です。県平均は59.7%、全国平均は65.8%であり、全国・県の平均よりも高くなっています。しかし、一日2時間以上勉強している生徒の割合になると、全国平均よりもやや低い傾向にあります。  
また、土曜日や日曜日など学校が休みの日に、2時間以上学習する生徒の割合は、本校では48.0%、県平均は38.2%、全国平均は40.0%であり、全国・県の平均よりも高くなっています。しかし、一日3時間以上勉強している生徒の割合になると、全国平均よりもやや低い傾向にあります。  
家庭学習は学校での学習内容を定着させ、さらに発展的な学習に取り組むことで、自分の特性や個性を伸ばすこともできます。学びに向かう力を支える家庭での学習習慣がつけられるように指導を継続していきます。

Q.学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。  
(学習塾や家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

	3h以上	2~3h	1~2h	0.5~1h	0.5h未満	まったくしない	無回答
本校	6.0	24.4	40.6	22.1	4.6	1.8	0.5
県	5.3	16.0	38.4	25.4	11.1	3.6	0.2
全国	10.3	23.4	32.1	18.0	9.9	6.0	0.3

Q.土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。  
(学習塾や家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

	4h以上	3~4h	2~3h	1~2h	1h未満	まったくしない	無回答
本校	3.7	14.3	30.0	33.6	12.9	4.6	0.9
県	6.0	10.3	21.9	30.2	23.5	7.5	0.6
全国	6.8	11.5	21.7	25.3	21.7	12.5	0.5

